
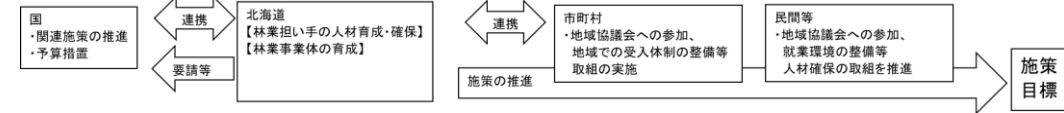


<b>令和3年度 基本評価調書①</b>		所管部局	水産 林務部	所管課	林業木材課、道有林課	
施策名	林業の担い手対策の推進			施策 コード	07081	
政策体系 (中項目)	農林水産業の持続的な成長			政策体系 コード	2 (1) C	
知事公約	C0008 C0011	総合戦略	A3721 A3722 A3723 A3732	国土強靱化	-	事務事業数 10
SDGs				総合判定	概ね順調	

**【1 Plan】**

施策目標	道内外からの林業への新規参入など、森林づくりを担う人材の育成・確保を進める。北の森づくり専門学院(略称 北森カレッジ)において、将来の森林づくりを担う人材を育成する。林業労働者の就業環境の改善を図り、安全で適切な施業を行う林業事業体を育成する。					
現状と課題	人工林資源が利用期を迎え、今後、伐採や植林などの事業量の増加が見込まれる中、これらの作業を行う人材や事業体の役割はますます重要となっている。林業・木材産業の競争力強化に向け、林業労働力を安定的に確保する必要がある。					
主な取組	研修の実施や地域ネットワークの活用、情報発信等により、人材の育成・確保を進める。北森カレッジにおいて、地域等と連携した人材育成と卒業生の着実な就業に向けた支援を実施。林業事業体登録制度を活用し、情報発信や研修会の開催等により、林業事業体の育成を図る。林業事業体による計画的な雇用確保や設備投資を促進するため、林業事業体の裁量度を高めた立木販売を実施。					
予算額 (千円)	R 3	378,818	R 2	963,431	R 1	532,534
施策の イメージ						

**〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載**

指標名①	増加	人	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
林業の新規参入者数	目標値		160	160	160	160	84.4%	C
	実績値		159	161	135	-		
設定理由	北海道総合計画、北海道森林づくり基本計画に基づき、林業担い手の確保を推進するうえで林業就業者の人数を把握する指標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
有効求人倍率の上昇及び求職者の減少に伴い、他産業との人材獲得競争が激しくなったこと等により新規参入者が減少。								

指標名②	増加	%	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R8)	達成率	指標判定
通年雇用者割合	目標値		55	56	56	60	119.6%	A
	実績値		60	56	67	-		
設定理由	北海道総合計画、北海道森林づくり基本計画に基づき、林業担い手の確保を推進するうえで林業就業者の雇用形態を把握する指標として設定。							
分析（主な取組と成果）								
伐採事業量の増加に伴い、年間を通じて、伐採作業に従事する者が増加したことにより通年雇用者割合が増加。								

指標名③		R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値						
	実績値						
設定理由							
分析（主な取組と成果）							

令和3年度 基本評価調書②	施策名	林業の担い手対策の推進	施策コード	07081
---------------	-----	-------------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
成果指標	林業の新規参入者数	159	161	135	160	C
	通年雇用者割合	60	56	67	56	A
目標(指標)の達成状況	通年雇用者割合は目標値を上回り順調に伸びているが、林業の新規参入者数について目標に向けたさらなる取組が必要。				指標総合判定	B
連携状況	農林水分野での一体的な取組(農政部・水産林務部)や移住定住推進センター(総合政策部)でのイベントの開催など施策・部局間連携を進めている。全道に設置した、林業事業者や教育機関、市町村などの地域関係者による地域協議会と連携して施策を進めている。				連携判定	○
緊急性優先性	林業事業者などの地域ニーズを把握するなど、施策の推進に役立てているほか、林業事業者や担い手を育成確保するために必要な事項を国へ要望しており、状況の進捗が認められる。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	林業の担い手対策の推進に向けて、新規就業者の確保や通年雇用化・就業環境の改善に向けた取組が着実に推進されており、引き続き指標の達成に向けたさらなる取組が必要。				総合判定(一次評価)	概ね順調

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	令和4年度の北の森づくり専門学院の入学者を道内外から広く確保するため、PRキャラバンや高校・大学等への訪問、道外での入学試験などを実施。インターンシップや進路相談等による生徒の業種適性の把握等関係団体と連携した取組により生徒の就業先を確保。
②	地域の素材生産を担う林業事業者の計画的な雇用確保や設備投資を促進するため、林業事業者の裁量度を高めた立木販売を実施する。	
③	地域ネットワークでの取組や、道内外に向けた林業の魅力発信などにより、新規就業者の確保を促進するとともに、就業希望者等に対する研修の実施や、就業にあたっての経済的負担の軽減により、新規参入者を支援する。	

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	今年度開校した北の森づくり専門学院について、効果的・効率的な職員の配置等を検討すること。	対応状況(R3.3時点)	本道の特色を活かした魅力ある教育プログラムの着実な実施や、企業への就業に向けたマッチングを進めるために必要な職員を配置し、人材の育成・確保を図る。
R3年度二次政策評価			

【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	SNSの活用や移住施策との連携により道内外へ林業の魅力を発信する。 地域協議会を活用した高校等へのPRや事業者とのマッチング強化、造林作業の軽労化、通年雇用化の推進に取り組む。 北森カレッジにおける地域や産学官との連携による人材の育成に取り組む。 体系的なキャリア形成に資するICT等の最新技術を含む研修を実施する。